

報告書

報告者 金丸 幸司

- 1、タイトル 効果的な質問・質疑のチェックポイント
- 2、場所 地方議会総合研究所 アットビジネスセンター池袋駅前別館
- 3、日時 平成 31 年 3 月 25 日(月)10 時～17 時まで
- 4、講師 (株)地方議会総合研究所
代表取締役 廣瀬 和彦
- 5、受講者名 公明党 保坂芳子・金丸幸司・加藤敬徳

6、内容

1、 質問

- (1) 意義と種類(2)機能(3)通告と事前聞き取り(4)答弁を求める者の解釈
(5)一問一答の活用方法(6)一括質問、一括答弁のメリット、デメリット
(7)質問の範囲(8)議長等に対する質問(9)質問時間(10)無通告による質問の取り扱い(11)重複質問(12)質問における要望(13)効果的な質問を行うにあたっての9つのチェックポイント(14)より良い答弁を引き出すための5つの方策(15)質問における情報源

2、 質疑

- (1) 報告後の質意義と4つの注意事項(2)質問と質疑の3つの違い(3)委員会付託前の質疑と委員長疑(4)本会議と委員会質疑の違い

3、 質問応用

- (1) 質問のテーマを考えるにあたっての3つのポイント(2)執行機関への聞き取り(3)質問と公約(4)政策提案と質問など

☆質問において最も大事にすべきこと

①現場主義を徹底すること個別・固有の問題が町全体の問題につながる可能性あり→議員は町における個別利益と全体利益の両方に配慮する必要あり

②執行機関への聞き取り→問題となっている行政に対し執行機関の担当課としての見解を聞く

☆現場主義から言える事

議会報告会、議員報告会、会派報告会、所管事務調査による実地調査など様々な手法を駆使して住民の生の声を把握することからすべて始まる。

住民の意見を出してもらう前の議会・議員からの情報発信も重要。